

**2017-18年度国際ロータリー第2790地区  
第3分区A インターシティミーティングプログラム**

日時: 2018年2月14日(水) 点鐘 14時  
会場: ホテル ザ・マンハッタン 2F  
司会: 千葉幕張RC幹事 宮内孝二

13:30 受付開始

**第一部**

---

14:00	開会点鐘 国歌斉唱 ロータリーソング 開会挨拶 ガバナー補佐挨拶	『君が代』 『奉仕の理想』	第3分区Aガバナー補佐  千葉幕張RC会長 第3分区Aガバナー補佐	宮本和夫  砂畑頼孝 宮本和夫
“ ロータリー財団についての知識を高めよう ”				
14:10	『奉仕プロジェクトとR財団の立ち位置について』		国際ロータリー第2790地区 ロータリー財団統括委員会 委員長	宇佐見透
14:40	『奉仕プロジェクトの立案から補助金申請の実施まで』		国際ロータリー第2790地区 補助金プロジェクト委員会 委員長	清水 隆
15:00	『ポリオ完全撲滅に向けた最終戦略と見通し』		国際ロータリー第2790地区 ロータリーポリオプラス委員会 委員長	中沢由岐子
15:20	～休憩～			

**第二部**

---

15:30	入会歴が浅いロータリアンによるバズディスカッション		コーディネーター 千葉RC	清田浩義
	テーマ		各クラブロータリアン 千葉RC 新千葉RC 千葉西RC 千葉中央RC 千葉東RC 千葉若潮RC 千葉幕張RC	大塚勝之 稲葉良一 友田直人 土屋和紀 七海順子 北原賢一 放生知晃
“ 入会歴が浅いロータリアンが本音で語る 何故ロータリーに入った？ 良かった？ 悪かった？ ”				
16:35	直前ガバナー補佐へ記念品贈呈 次期ホストクラブ及びガバナー補佐 紹介、挨拶		第3分区A直前ガバナー補佐 第3分区A次期ガバナー補佐	卯田惣治郎 穴倉壽夫
16:45	閉会挨拶及び閉会点鐘		第3分区Aガバナー補佐	宮本和夫

～休憩～

**懇親会の部**

---

17:00	開会挨拶		第3分区Aガバナー補佐	宮本和夫
	乾杯		第2790地区パストガバナー	大矢 惣一郎
～懇談～				
17:30	アトラクション	松田聖子のそっくりさん 神田聖子		
18:15	閉会挨拶		千葉幕張RC副会長	始平堂 玄昌

2017-18 年度国際ロータリー第 2790 地区  
第 3 分区 A インターシティミーティング

## ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2790 地区  
第 3 分区 A ガバナー補佐 宮本 和夫

本日は第 3 分区 A インターシティミーティングに多数の方に参加いただきまして誠にありがとうございます。  
ございます。

補佐としての仕事もこれが済みますとだいたい終わりなのかな、ひと段落するのかなと思ってほっと胸を撫でおろしています。また身も細る思いでいます。

7 月からの会長幹事会で、インターシティミーティングをどのようにやっていこうかと話してまいりました。今年度から会長も参加ということで話してまいりました。

話すうちに、会長・幹事さんからもグローバル補助金について、詳しいことがわからない、次やってみたいんだけどという話を聞きました。グローバル補助金は簡単にやってまた後から大変な目に遭うということもありますので、今日は財団から 3 名、パストガバナーの宇佐見さんをはじめ、2 名の委員長さんに来ていただきました。補助金の執行許可を出す清水さん、これから財団が進まなくてはいけないポリオのことについて詳しくお話ししていただければと思います。

第 2 部は、ロータリークラブは会員増強、会員増強と言われています。なかなかこのご時世にそう簡単に入る方たちも少ないんじゃないか、という風に考えました。入る方よりも辞める方の歩留まりを少なくした方が増強につながるのではないかという風に考えまして、今日は千葉クラブの清田さんにコーディネーターをお願いして、入会の浅い会員さんの悩みや先輩の嫌味、そういったものがありましたら、忌憚ない意見をいただきまして、見てる先輩方はうまくその辺をクラブの中に生かしていただければいいな、と思っています。

また 3 部は、今日は「神田聖子」さんと言う方がお見えになっています。楽しんでいただければいいのかな、と思っています。

今日一日よろしく願います。ありがとうございました。

## 奉仕プロジェクトと R 財団の立ち位置について

国際ロータリー第 2790 地区  
ロータリー財団統括委員長 宇佐見 透

皆様こんにちは。地区財団委員会委員長を務めております宇佐見です。

本日開催の I・M で、地区財団委員会活動を取り上げて頂き、宮本アシスタントガバナーに深く感謝申し上げます。

まず、ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」と言います。

これは国際ロータリーとロータリー財団が表裏一体の活動を目指しているからです。

ロータリーの父がポール・ハリスであればロータリー財団の父はアーチ C・クラumpf です。

クラumpf は 1917 年のアトランタ国際大会で、「諸々の、社会奉仕活動を今まで通りに実行していくには、慈善・教育・他、世界でよいことをするための基金を作るのが、極めて適切であると思われる」と説き、このビジョンが土台となりロータリー財団が誕生しました。そしてこの「世界で良いことをしよう」という言葉が、財団の標語となりました。

「情けは人の為ならず」という教えに通じませんか。

それから 100 年余り。ロータリー及びロータリー財団は彼のビジョンを受け継いできましたが「世界でよいことをするための基金」が提唱された 1917 年は、1914 年から始まった第 1 次世界大戦の真っただ中で自分の身の安全、家族を守るのが精一杯。誰も信じられない自分の事で頭が一杯な時代ですから最初に集まった基金はわずか 26 ドル 50 セント（当時の日本円に換算して 53,000 円）で 10 年たっても金額は僅かでした。この間も彼は諦めず基金の重要性を訴え続け 1928 年のミネアポリス国際大会でようやく「ロータリー財団」と改称されました。アーチ・C・クラumpf は「我々は、この財団を今日や明日の時点ではなく、何十年、何世代を通じた尺度で見つめるべきです。なぜなら、ロータリーは幾世紀にもわたる運動だからです」と述べています。

そして R 財団は「世界でよいことをするため」に都度必要に応じ、数多くのプログラム（マッチング・グラント、3H プログラム、ポリオ、ポリオプラス、WCS、VTT、財団奨学生制度、等々）を実施してきた結果、実施要項が複雑で解り難いものとなり、また制約から申請に手間がかかる事態が生じていました。それらを全て見直し、新たに作られたのが未来の夢計画 Future Vision で 2013 年から導入されました。夢計画では今後皆さんの R 財団として 1. 地区補助金、グローバル補助金による地域奉仕活動 P J、2. ポリオ撲滅 P J、そして 3. 世界平和フェロー育成 P J の 3 プロジェクトに絞り込んで活動してゆきます。

次にこれらのプロジェクトを支える資金即ち皆様からの寄付支援についてお話しします。

ロータリー財団への寄付は大きく分けると年次基金、ポリオプラス、恒久基金、その他基金に分かれています。年次基金は毎年ご寄付を受け付ける通常寄付で財団の基盤です。地区補助金プログラムの資金源でもあり、会員 1 人当たり 150 ドルを目標に寄付をお願いしています。年次基金寄付は 3

年後にシェアシステムにより地区財団活動資金（DDF）と国際財団活動資金（WF）に 50%ずつ配分されます。DDF は地区財団委員会の管理下にあり「地区補助金」、「グローバル補助金」、「ポリオプラス」や「ロータリー平和センター」への寄贈等に宛てられます。

年次基金が今日の財団プログラムを支える一方、恒久基金は明日の財団プログラムを確かなものとするために、元金には手をつけず投資収益のみを使います。

国際ロータリー日本事務局が毎月発行する財団 NEWS 8 月号より抜粋した国内 34 地区の 2016-17 年度の寄付実績をもとに当地区の寄付の現状をご説明します。

地区ごとに会員数が違いますので当地区は第 1 ゾーンでは最大の 2,700 名以上を有する最大地区ですから寄付総額では全国の 16 位です。ただ 1 人当たりの寄付額で比べてみると、全国 34 地区中、25 番目で、ビリからのトップテンに入ってしまいます。昨年度 1 人当たりの平均は 125.15 ドル（全国平均 151.09 ドル）で目標を達成されているクラブは地区内の 24 クラブ。未達成クラブは 59 クラブという結果でした。また、最も多いクラブで 1 人当たり 511.11 ドルですが、最も少ないクラブで 1 人当たり 8.74 ドル（約 1,000 円）です。また首都圏、関東地方ではビリから 2 番目の 2780 地区に大差をつけられた圧倒的ビリです。

なんとも悲しくなります。寄付は、強制されて行うべきものではありませんし、ロータリーは寄付団体ではありません。しかし、だからと言ってこのままで良いのでしょうか？

「シェア」即ち分け合う反面、そこには負担もなければなりません。残念ですが、当地区は確実に関東エリアの平均を下げており、日本全体の平均も下げています。更に大きな問題は「寄付ゼロクラブの消滅」です。昨年度日本国内から寄付ゼロクラブが無くなりました。つまり日本国内全 2,264 クラブが年次寄付に協力下さいました。今年度も不名誉な地区とならぬようお願い申し上げます。繰り返しになりますが、当地区の目標額は年次寄付 会員一人当たり 150 ドルとポリオプラスプログラムへ会員一人当たり 30 ドルをお願いします。次にシェアシステムによる地区財団活動資金の流れを簡単にご紹介します。

3 年前の年次基金寄付総額は 319,453 ドルでした。

㊦ 319,453 ドル × 50% = 159,727 ドル

㊩ 前年度の恒久基金の収益の 50% = 30,698 ドル（財団本部が管理しており毎年 10 月に発表されます。）

㊪ 前年度の繰越金 93,212 ドル ㊦～㊪の合計が地区財団活動資金で 283,637 ドルとなります。そこから地区補助金へ 90,380 ドル、グローバル補助金へ 85,000 ドル、ポリオプラス、ロータリー平和センターへ 25,000 ドルずつ、更に予備費として 58,258 ドルを配分しました。WF: World Fund はポリオ撲滅と平和フェローのプログラムに使用されます

ロータリー財団では皆様の寄付に対し感謝の印として様々な認証レベルと認証品をご用意しています。ポール・ハリスフェロー（PHF）やベネファクターなどが主なものです。更にポール・ハリス・ソサエティ会員とは毎年 1,000 ドル以上のご寄付をお約束頂くことで会員認証されその栄誉を称える特別な襟ピンが贈られます。当地区では現在 35 名のソサエティ会員がおられます。26 ドル 50 セントの最初の寄付が行われて以来、財団の資産は約 10 億ドルにまで成長し、これまでに 30 億ドルもの資金が、世界中の何百万人もの生活に変化をもたらすプログラムや奉仕プロジェクトに投じられてきました。

「世界で良いことをしよう」その第一歩は皆様の寄付から始まります

続いてロータリー平和フェロープログラムについてご説明します。

ロータリー平和センターはポール・ハリスの平和への願いから創設され、国際平和を謳ってきたロータリーが初めて、正面から平和貢献の為に立ち上げたプログラムです。

世界の 100 以上の大学を対象に、専門委員が調査し 7 つの名門大学と提携し、そこに世界平和センターを設立しました。以下、ICU(International Christian University 国際基督教大学) (東京, 三鷹市)、クイーンズランド大学 (オーストラリア、クイーンズランド州)、ブラッドフォード大学 (英国、ウエスト・ヨークシャー州)、デューク大学/ノースカロライナ大学チャペルヒル校 (米国、ノースカロライナ州 \*2 校で 1 ロータリー平和センターを共有)、ウプサラ大学(スウェーデン、ウプサラ)、チュロンコン大学 (タイ、バンコク) の 7 ヶ所です。卒業後は各国政府、非政府組織、軍、警察、教育、人道支援団体、司法、国際組織のリーダーとして活躍しています。日本では ICU がある三鷹市の第 2750 地区 西東京がホスト地区として中心になり、近隣の第 2580 地区東東京、神奈川県第 2590 地区、第 2780 地区、埼玉第 2770 地区、と当第 2790 地区千葉 の計 6 地区でホストエリア地区を形成し 10 名のフェロー一人一人にロータリアンのカウンセラーが割り当てられます。

ロータリアンによる受け入れはフェローの成功に欠かせないものであるため、日本全国のロータリアン一人一人から寄付される 15 円でホストエリアの維持活動にあてられています。当地区はこのプログラムに毎年 25,000 ドルを D D F から寄贈し平和推進地区に指定されています。

## 奉仕プロジェクトの立案から補助金申請の実施まで

国際ロータリー第 2790 地区  
補助金プロジェクト委員会 委員長 清水 隆

地区補助金プロジェクト委員会 委員長を仰せつかっております清水です。所属は千葉若潮 RC です。宇佐見財団委員長のプロジェクトを使った倍くらいのお話で、私が出る幕はないんじゃないかと、今更という形で地区補助金のお話しをしても、財団委員長のお話の中で大体のお話はされていたかと思しますので軽く聞き流していただくという形の方が私も気が楽ですので、気になったところだけ押さえていただければと思います。

私自身が滑舌が悪いものですから、お聞き苦しい点もあるかと思いますがご了承下さい。

ロータリー財団には人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることの使命がございます。

その使命の内容を理解するのが難しいので、私などはロータリーの目標である「世界で良いことをしよう」と考えています。世界規模、日本国内、地区、強いては各クラブで良い事をしようと思うことにしています。着目するテーマでロータリー感が変わってくるのではないのでしょうか。

日本のロータリーは奥が深く、複雑すぎて説明と理解が難しいと私は思っています。

シンプルに世界で良いことをしよう、を中心にすえてからはロータリーのつながりがひとつずつ見えまいました。

そしてすべてのロータリアンとの交流が大切です。良い悪いは別としてロータリーは奥が深く複雑だからこそ情報の共有が必要となり共有の中から見えてくるものがあると思います。

簡単に言いますと、まずは見ましょう、参加しましょう、その中でロータリーを理解しようとしていただくと考えていただければよいのではないかと考えています。

世界で良い事をするには奉仕活動をする、奉仕活動には資金がかかる、では活動資金を集めるにはやはり寄付をお願いするということになります。そしてロータリアンの積極的な参加によって奉仕プロジェクトが行える、このような流れになるのではないかと私は思っています。

RI は奉仕活動を推し進めております。ロータリー財団は RI の奉仕活動資金を集めるという事が一番の目標となっています。その流れから地区ロータリー財団委員会では 83 クラブに寄付のお願いをします。

地区補助金の申請は、各クラブが奉仕活動を実施するにあたり、一番重要となるのは活動資金だと思えます。それをサポートするための運転資金だと簡単に考えていただければ少しは入りやすくなるのではないかと考えています。そこで各クラブからのご意見として発表させていただきますが、予算があまりないので実施するのが難しい、継続事業を行っているので新規事業をする必要がない。地区補助金が難しい、わからない等がございました。

最後のお答えなどはその時点で興味が無い、と受け止められても仕方ないことですが、今のような

諸問題から奉仕活動を実施するクラブが年々減ってきているのではないかという現状になっています。このままですとロータリークラブは奉仕の理念だけになってしまうのではないかと懸念しています。財団では各クラブが奉仕活動に取り組み、状況を考え地区補助金プログラムを推し進めています。財団活動資金をうまく利用してクラブの負担を減らした奉仕活動から取り組むようお願いしたいと思っています。

例えばですが、簡単な事業で言いますとゴミ拾い、清掃、献血、クラブの専門色を生かしたプロジェクト、教育など。あまり資金のかからないプロジェクトでありロータリアンが積極的に参加する奉仕活動を考えて下さい。

次に地区補助金の始まりについてお話をさせていただきます。

宇佐見財団委員長からもお話が出ていますが簡単にお話しをさせていただきたいと思います。

2013～14年度 関口年度となります RI からの未来の夢計画の主導により、地区ロータリー財団の試み

としてロータリー財団が抱える多くのプログラムを一括整理し、わかりやすい活動方針を掲げました。地区財団活動資金、これを DDF と言いますね、による 4 つのプログラムにまとめられました。

そのひとつが地区補助金です。さきほど宇佐見財団委員長から 3 つのプログラムのお話がありましたが、地区補助金の中に地区補助金とグローバル補助金、その中でもグローバル補助金は DDF と世界財団活動資金ですか WF も半々で関わっているということで地区補助金の中に入ります。

ですからこれを 4 つのプログラムとお話ししましたが、財団委員長の違いはそういうところがあるのでご理解いただきたいと思います。

各クラブの活動資金となる地区補助金の財源は 3 年前の皆様からの寄付金です。逆に言いますと、今年度皆様からお預かりした年次基金寄付は 3 年後に地区に戻されます。これがシェアシステムです。簡単に説明しますと、3 年前の年次基金寄付と恒久基金運用益がシェアシステムの対象額となります。地区財団活動資金と国際財団活動資金に振り分けられます。地区財団活動資金 DDF で前年度繰越金が加算され地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、平和センター 4 つのプログラムに分けられます。2790 地区では地区補助金を活用しての奉仕活動は、83 クラブ中約 50% 近くに達してきております。

今後はすべてのクラブから地区補助金申請があがるように枠を広げていきたいと考えています。

そのために財団委員会は、各クラブに寄付をお願いするにあたって財団委員会の財務報告、寄付金の使途等明確に行い、各クラブが財団の活動を理解したうえで寄付を募り、各クラブが地区補助金を活用してより内容を深めた奉仕プロジェクト立案を実施することで各クラブの変化に繋がればと考えています。

そのためには各クラブより、より多くの年次基金寄付をお願い申し上げることで、地区、各クラブの発展に繋がると考えております。どうぞよろしく願い申し上げます。

次に申請の注意点です。

地区補助金は、地域社会または海外でロータリー財団の使命に沿った単年度のプロジェクトとなります。実施するために活用できる資金です。グローバル補助金は継続年度となり、DDF、WF と活用しての奉仕プロジェクトとなります。そこらへんの違いだけご理解いただければと思います。

2790 地区ではクラブからの申請方法や、期日など地区独自の手続きと方針を決めています。

地区補助金を活用するにあたって MOU と補助金管理セミナーへの出席を追加条件として義務づけています。いまお話しした MOU の締結と補助金管理セミナーへの出席を行うことでクラブの参加資格認定の対象ということになります。

従って、地区補助金の申請を考えているクラブは毎年の地区補助金管理セミナーに出席していただき MOU の締結を行う必要があります。そして地区補助金を活用しての奉仕活動を実施する、しないは

関係なく情報の共有をするために是非とも次年度から補助金管理セミナーにご参加のほどをよろしくお願ひしたいと思ひます。地区補助金はロータリー財団の使命に関連するプロジェクトでロータリアンが積極的に参加するものでなければなりません。

私などはクラブの活性化となる活動で一番重要ではないかと思ひています。

地区補助金プロジェクトだけでなく、すべての奉仕プロジェクトの参加もよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上補助金管理セミナーへの出席と MOU の締結は重要事項となりますのでこれから先毎年度、毎年度となりますが各クラブで検討していただければと思ひています。

次に地区補助金の注意点と流れです。タイムスケジュール等をご説明します。

補助金申請は RI からの要請により、年度をまたぐ形で執り行われます。ロータリー年度で言ひますと半年早く動き出すこととなりますのでこの半年早い始動がクラブによっては対応するのが難しいと思ひますが、各クラブが柔軟性をもって対応していただければと思ひておりますのでよろしくお願ひします。次年度の補助金申請の流れを今年度で見立てますと、今年の 2 月 10 日に財団資金管理セミナーを開催しました。参加と MOU の締結、情報共有のために参加して下さいということのお話しになります。3 月 1 日から 31 日までの 1 ヶ月間補助金申請書の受付期間となっています。これは次年度橋岡年度の地区補助金申請書提出期間となっています。

3 月 31 日の受付期間が終了しますと、4 月からは諸岡年度が対象となります。各クラブのご理解をいただきまして早い時期から長期立案をしていただひて 2018~2019 年度の年次総会に向けてご検討をしていただければと思ひております。

4 月 15 日に地区補助金財団奨学生の審査を行います。5 月に入って中旬から末までの間に RI に一括申請となります。この流れで進めませんと次年度スタートに間に合ひません。要は、次年度開始に対応すべく半年早いプログラムになっているのでよろしくお願ひします。

地区補助金申請は難しい、よくわからないという声を聞きますが以上ご説明させていただきましたシステムとタイムスケジュールをご理解していただき、各クラブが柔軟性を取り入れることで地区補助金が理解しやすくなると思ひています。

最後となりますが、地区補助金申請書はロータリーの参考書だと私は思ひています。記載内容を理解し実施することから始めていただひたいと思ひています。時間はかかると思ひますがクラブの発展に必要な奉仕プロジェクトの立案から報告書までの流れを理解できる内容となっています。

そして次の奉仕プロジェクトへ繋がる運営を確立できますので、それがクラブの変化になり活性化になると私は思ひています。

3 年間補助金財団委員会に入っていますが、補助金の申請から報告への内容を見ているとよくわかります。そのクラブのレベルまで見えてきてしまう。そこらへんをどこまで掘り下げて奉仕プロジェクト



を立案するかは相当これからは重要だと思っています。その中でクラブの全会員が参加出来るように、参加した中で理解できるようにするにはどうしたらいいかということを検討していただいて補助金にチャレンジしていただきたいと思います。

簡単ですが以上です。

## ポリオ完全撲滅に向けた最終戦略と見通し

国際ロータリー第 2790 地区  
ロータリーポリオプラス委員会 委員長 中沢 由岐子

2017-18 年度ポリオプラス委員会 委員長を仰せつかっております中沢由岐子です。  
所属は柏ロータリークラブです。よろしくお願い致します。

ポリオ（急性灰白髄炎）は人から人へのみ感染する感染性の非常に高い病気です。  
日本では一般的に「小児まひ」と呼ばれることもあります。  
ロータリーでは 2007 年の規定審議会でポリオ撲滅を RI の最終目標とすることが承認され、世界からポリオが撲滅されるまでは、他のいかなるプログラムより優先されるものとなっています。

### 【ポリオに関する事実】

1. ポリオに最も感染しやすいのは 5 歳未満の子ども
2. 治療法はないが、ワクチンで予防が可能
3. 野生型ポリオウィルスの常在国はわずか 3 か国
4. 1988 年以来、発症数は 99.9% 減少
5. ポリオを永久になくさない限り、感染リスクは全世界の子どもに

現在の目標はウィルスの伝播を止めることにより 3 年後に世界のポリオ根絶を認定できるようにすること。ポリオ根絶に向けた最後の一押しのために追加資金 15 億ドルが必要。

今、ウィルスの伝播が止まらなければ今必要な 15 億ドルに加えて毎年 8 億ドルが必要となると試算されています。また、ポリオを根絶することで 2035 年までに節約できるはずの保健医療費 500 億ドルも節約できなくなります。

そして、ウィルスの保菌者が難民として他の国に入国し、また、2020 年開催の東京オリンピックの際には、この日本にもどれだけ海外の方が入国されるのか。

大人はウィルスに感染しても症状としてでない事があります。ですから、知らず知らずに保菌者となっている事もあります。

感染のリスクも消えません。いま、皆さんからのご寄付により、ポリオ根絶の途を途絶えさせない事です。そして、あと少し。

ポリオプラスへのご寄付お 1 人 30 ドル以上をお願いします。

みなさんが 30 ドル寄付するとビル＆メリンダ・ゲイツ財団が 60 ドルの寄付をしてくれます。すなわち、あなたの 30 ドルは 90 ドルになってポリオ撲滅のための資金となるのです。どうか、皆様のご協力をお願い致します。

## 第2部 入会歴が浅いロータリアンによるバズディスカッション

コーディネーター

千葉 RC 清田 浩義

パネラー

千葉 RC 大塚 勝之

新千葉 RC 稲葉 良一

千葉西 RC 友田 直人

千葉中央 RC 土屋 和紀

千葉東 RC 七海 順子

千葉若潮 RC 北原 賢一

千葉幕張 RC 放生 知晃

(敬称略)

清田

千葉 RC のコーディネーターを務めさせていただきます。清田と申します。

先ほど宮本さんからもありましたが、なかなか皆さんの前で本音を語れるかどうか難しいとは思いますがよろしくお願ひします。良かった、悪かった・・悪かったと本音で言われてもどうしていいわかりませんが・・。会員増強、入会をしても辞めていってしまう、まさに表と裏といったところだと思います。昨年の IM もパネルディスカッションで、テーマは「ロータリーの明日を語る」でした。昨年よりは今年の方がパネラーとしては楽かもしれませんね。是非これから1時間よろしくお願ひいたします。ではまず自己紹介からお願ひします。それぞれのクラブ、所属している委員会、入会歴、テーマでもある入会動機も合わせてお話下さい。入会7ヶ月の方から3年10ヶ月の方までいらっしゃいます。

それでは入会歴の浅い、北原さんからお願ひします。

北原

親睦活動出席委員会とクラブ会報委員会に所属しています。入会歴は7ヶ月です。そもそもなぜ RC に入ったかと言うと、幕張 RC に大変お世話になっている方がいて、たまたま飲んでいる席で若潮 RC の方と知り合いになり、例会を見学についてそうこうしているうちに気がついたら入っていた・・という次第です。

友田

3年かなと思っていたら、3年10ヶ月も経っていました。会員増強退会防止委員会と親睦委員会です。前 PP から2年に及ぶ熱心なお誘いをうけて断りきれずに入会に至りました。わが身が入会、という意識を持っていなかったので今でも不思議という状況で活動させていただいています。

七海

とても温かい会で、親子のような兄弟のような方々に囲まれて甘やかされています。

多少いろんなことを言っても許されています。

武田先生という歯科医の方の紹介で入会しました。経営している幼稚園の主治医です。米山委員をさせていただいています。日本人ですか？とよく聞かれますが私は日本人です。

- 放生 苗字が珍しいのでよく覚えていただけます。美浜区で15年司法書士をしています。社会奉仕委員会に所属しています。職業柄「成年後見」というものに携わる中で、葬儀に関わる仕事をしている関係で、その方が会長になる直前に、週に1度お昼ご飯食べに来るといいよ、と誘われました。人と付き合うところが欲しいなと思っていたところと合致したので入会することにしました。入会してもうすぐ3年になります。
- 大塚 社会奉仕委員会に所属しています。入会動機ですが、一言で言えばパワハラ的な感じですね。本当のところは大恩ある先輩がいてその方から勧められました。ある団体の所属が終わって次はどうしようかと思っていたところ、せっかく声をかけていただいたのでとりあえず飛び込んでみてどのような事ができるのか考えてみようかなと思いました。
- 稲葉 親睦委員会と会員増強委員会に所属しています。尊敬するクラブの大先輩中村周二さんから一晩限りの勧誘を受けまして一晩で入会を決めました。勧誘の方法はいろいろあると思いますが、皆さんのご存知の通りです。
- 土屋 ちょうどこの2月で3年になります。幹事をやらせていただき多くのロータリアンと会うことができ、楽しい時を過ごしています。夜お酒を飲んでいる時に、このバッチがあるといいんだぞ、と聞かされました。PTAの活動をしている関係で、ポリオであったり、子供達のことをやっているならという理由で入会しました。入会してからあの時のバッチはロータリーのバッチだったんだと知りました。
- 清田 皆さんから入会動機の話をお聞かせいただきました。パワハラの話もありましたし、お酒の席でというお話もありました。人の縁、どなたかの縁で入会された・・・ということなんだろうと思います。皆さんも是非ご自分が入会した頃の気持ちを思い出して聞いていただければと思います。何故辞めてしまうのか、何故入りたいのか、その答えを是非パネルディスカッションの中から見つけていければと思っています。それでは、入会して心に残る出来事、思い出、そんな話を聞かせていただきたいと思います。
- 土屋 心に残るのは、子供達との交流や地域との交流です。PTA会長という立場は直接子供たちと触れ合う機会があるようでない。子供たちの笑顔が見ることが出来た時は活動をやっていて良かったな、と思います。
- 清田 悩みや嫌味を是非本音で語って下さい。
- 大塚 印象に残っているのは、ウィルチェアラグビーです。車イスラグビー「千葉ロータリーカップ」を開催し大会を開いたのが印象に残っています。半分は貴重な経験をさせてもらったということ、

ほとんど99%委員長にやってもらってしまったので、もう少し自分でも何か出来たのではないかとということでも印象に残っています。パラリンピックや障害者スポーツを色メガネで見ていたつもりはないが理解が深まった。パラスポーツの本質がわかり意識が変わりました。

清田 入会して意義のある活動が出来たというお話が聞きました。入会して辞めたいと思ったことのある人は多いと思う。放生さん、辞めたいとそういうふうにした出来事はありますか？

放生 あまり辞めたいと考えたことはありませんが、会費の請求がきた時はビックリします。小規模でやっている事務所で売上もそんなにない中で年会費の請求がきた時はギョッとします。辞めたいと思うような出来事は私自身は感じたことはない。

友田 辞めたい、と思うことはほとんどない。これ以上続けているとえらいことになるなあという感はある。段々と底なし沼にはまっていくという心配がある。日程調整やメイクアップの日程もなかなかとれず困ることがある。つまらない、メリットがないから辞めたいという思いはない。

稲葉 2軒目まではいいんですが、3軒目ぐらいになるとそろそろ辞めたいという気持ちになります。

七海 ここに自分がいる意義がないと感じる時に辞めたいと思うことがある。退会を防止とか、入会を勧めるとか、ホステスみたいで嫌だなと思います。すごく良かったのは、赤十字のボランティアの方のお話でボランティアをするのも人間でされるのも人間だ、というお話を聞いた時は涙が出そうになったことを覚えています。異業種であり、たくさんの事を知ってらっしゃる先輩方のお話を聞けるのは嬉しいが、退会とか入会とか押しつぶされそうになるのは止めてもらいたいと思っています。

北原 7ヶ月なので幸い辞めたいと思ったことはない。ずっとお客さんみたいな立場でいたら来なくなってしまうと思う。クリスマス例会の出し物を考える時に先輩、大先輩も作戦会議に来てくれて口は出さず金を出すということでご飯までご馳走になった。お客様気分でいた自分が、こういう中で何かしたいな、続けようと思うきっかけとなった出来事がありました。

清田 他のクラブの様子がわからない。こういう気持ちを持つのは自分だけではなかったのか・・・そういうことに気づかされるのもIMの醍醐味なのかなと思います。自分のクラブがどういう例会をしているのか、風土・雰囲気のお話しをしていただきたいと思います。

土屋 まだまだロータリーというものがわからないので、幹事を受けて踏み込んでみた。他クラブと比べて、ゆるい、やんわりとした例会をやっている感じがします。家庭があり、仕事があり、ロータリーがあり、地域がある。若い方の参加が少ないというのは致し方ないのかなと思う。でも例会に来る意味も必要だなと感じています。これから自分たちの年代の人が入ってくるには、流れであったり時間帯であったり考えないと

いけないのかと思います。子育てしている 30 代、40 代、50 代前半の人が例会に出る、付き合いに参加するというのは厳しいかなとも感じます。

清田 それぞれのクラブの雰囲気は是非伝わればと思います。

稲葉 他のクラブのことはよくわかりません。私の感じたところ、ある意味ローカルのかなと感じます。こうしなさいとか、参加しなさいとかではなく、各自の意思で考えを述べて、会員自身が考えて行動している。ぶつかる時もありますが、個人の意思で動いているクラブであるような気がする。私の考え方です。

清田 稲葉さんから同じクラブの方をどなたか指名していただけますか？同じ質問を同じクラブのこの方にお話しをしていただきたいと・・・。

稲葉 高橋潤さんお願いします。

高橋 新千葉 RC、住みよいクラブでしょうね・・・。私も入ったきっかけはパワハラみたいなものでした。飲んでいけば楽しいクラブでいいんじゃないかと思っていましたが、幹事を受けた時点と会長になった時点でロータリーの本を 1 冊読んだことがきっかけとなった。ロータリーって考えると難しいよね、でも行動しなければいけないのも事実だよね。私一人で唱えていると新千葉でハブンチョになってしまう・・・。だんだんポジションが無くなってきたという。(新千葉は) 内弁慶なクラブじゃないかと思う。

清田 北原さん、足りないところは誰か話して、という感じで指名して下さい。

北原 私の簡単な印象を話した後に、同期で入会した会員にお話ししてもらいます。入会する時に唯一不安、ネックに思っていたことは、子供がちょうど産まれたばかりということもあって、夜だったりゴルフだったりそういうお付き合いになかなか参加出来なくなってしまふ、それが皆さんと馴染むのに障害になってしまうのではと思っていましたが、若潮 RC の皆さんは、飛び込めば歓迎してくれるし、今日は失礼しますと言えば、じゃあまたね、と言ってくれる。そういう意味では肩に力を入れずにリラックス出来ています。ひとつは、今の会長のスローガン、「自然に楽しもう」がそのまま雰囲気に反映している。伊藤さんはどう思いますか？

伊藤 私も北原さんと同じ時期に入りました。まだ 8 ヶ月です。いまだに先輩方とお話しする時はしらふの時は緊張します。例会に行くのも緊張の毎日。先輩後輩の壁というのがなくてやさしく声をかけていただいている。夜のお付き合いは得意な方ですが、まだ事業の方が参加できていません。これからが楽しみです。

清田 時間もあと 20 分位なので次の問いかけに移らせていただきたいと思います。入会間もない皆さんがメリット、デメリット、自分にとってロータリーとはこういうものだ、自分はロータリーからこう

いった事が学べる、そういったところをお話しいただきたいと思います。

友田 ちょっと的外れかもしれませんが、私がボランティアをしている「いのちの電話」という自殺予防をする運動体の資金調達に大変絶大なる支援を受けている、というところは素晴らしいと思います。社会奉仕の活動といのちの電話としては大きな支援を受けられるというのがメリットとしてあります。私はクリスチャンですから、ロータリーの理念とか精神が、大変馴染みよく受け止められます。共感を得るとともに馴染みやすいという感があります。

七海 苦労してきたことがあって、今はとっても幸せですが・・・。  
寄付というものを5～6年させていただいています。どうも寄付の行き先が不明確で、いろんな噂を聞いたりします。まずちゃんとした寄付がしたいということ、皆さんと人生を共にするということが、会に私に出来ることと問われたら、メイクアップはうちに来て、私と握手しようってその程度ですが精一杯頑張らせていただきます。ひとつとっても嫌なことがあって、食事の時にずるずるスープを飲む、あれダメですね。あれだけは止めてもらいたいと思っています。

北原 ロータリーの理念や組織についてまったく無知で、いろんな勉強会に参加しても、皆さんすごく難しい議論をしているんだなあと感じます。メリットについては答えを持ち合わせていません。ではなぜ例会に参加したり、高貴な請求書がきた時に振り込んでいるのかというと、単純にそこにいる人たちが魅力的で会ってまた話を聞いてみよう、仲良くなりたいなあと思っているからです。

清田 入会動機の話にもありましたが、新しい人間関係を作りたい、新しいお付き合いをというお話もありましたが放生さんいかがでしょうか？

放生 入会して満足している状態です。毎回4つのテストを行います、自分の職業に関して振り返るようなところもあります。不誠実であってはいけないとか、毎週1回4つのテストを聞くと身が引き締まる思いがします。そういったところではメリットが大きかったなと思いますし、自分自身を成長させてくれたと思っている。子供が3人いまして毎日送り迎えをしています。なかなか夜に行けないというところがあります。昼の例会というのが魅力的なところでもあります。

清田 自分の思いが叶えられる、遂げられるというメリットという点と仕事をしなければならない時間をどうするか、一方ではそういう問題もあるということでしょうか。

大塚 入会して1年半ですので、本質的な意味、メリット・デメリットを語るには10年早いところがあります。嫌だったところはありませんが強いて言えば、千葉RCは例会が月曜日の昼ですが、月曜日は週の初めなので調子が狂うところがあります。しかしそれも最近少し慣れてきました。そういう条件の中で調整を図る、いい訓練かなと思います。前向きに考えています。メリット、デメリットはまだわかりませんが、きっと3年10年経ってもわからないかもしれません。新しい出会いがあって、コミュニケーションが広がって、自分の輪が広がっていく・・・そこで自分の存在意義がある、自分の居場所があると認識できれば居心地が良くなる。何かきっかけがな

いと面白くなくなってしまう。私は私なりに楽しませてもらっている。

清田 今回のパネリストの人選は、辞めたくないという人を送り込んだのではないかな、そんな気がしてなりません。

宮本さんにお伺いします。どうしたら会員増強、退会防止につながるか、こんな話しのところですけど、自分も辞めようと思ったことがあったとおっしゃっていましたが、少しそこら辺のところをお話しいただけますか。

宮本 入って3ヶ月位の時に先輩たちが炉辺をやってくれるということになったが、炉辺という意味がわからなかった。返事を渋っていたら大先輩が、お前のためにやるのになんで来ないんだ、と言われ、会社でもそんな風に言われたことがないのに、そんなだったら辞めちゃおうかな、と思いました。そんな時に別の先輩が飲みに誘われいろいろな話を聞いてくれた。この人飲み仲間として面白いかなど思ったりし、続けていくうちにそんなに悪いところでもないなと思うようになった。せっかくやるならもうちょっとロータリーのことをわかったりした方が面白いかと思うようになりました。

そのうちに友田さんが言っていたように、あまりやり過ぎてもよくないなと感じております。

清田 長いロータリー人生の中で、こんな風に本音を皆さんの前で語るというのも今日が最初で最後かもしれないので友田さんからこれだけは話しておきたいという事を順番に話して下さい。

友田 千葉西は大変厳格な運営をします。昨年 SAA をやりましたがちょっとのミスも許されない。台本通り、秒単位です。遅れると後で呼ばれて反省させられる。千葉西の雰囲気はきちっとセレモニーはやる。その反面、野球やゴルフといった部外活動も盛んでそういった方々が自分の人生の教材になっています。

稲葉 一社会人として尊敬出来る方々が揃っている。ロータリアンである前に、一社会人として戻る時にそんな方を見習っていきたい。それが新千葉クラブの反映に繋がるのではと思っています。

大塚 入会した時から今でも感じていますが、歴史と伝統、重みのある例会です。厳格さとは違いますが威厳を感じさせるような例会です。ですので、ちょっとした事を発表するのでも緊張します。雲の上の人のような方でも隣に座ればいろいろ話しをしてくれる。やはりそのような方でも同じ人間なんだなと感じます。大きな会社の支店長さんクラスの方も多く、ただでさえ顔と名前が覚えられないのに、異動の時期になると3人5人と入れ替わるのでせっかく覚えたのにまた覚えなくてはいけなくなってしまう。大塚くんと声をかけられても、この人誰だっけな、という場面もありばれないようにしないといけないなとかあります。

土屋 自分の勉強不足のもあると思いますが、飲んで席での先輩方のモノの言い方が強すぎて、そこまで言われるの、なんなのこの会はと思うことがある。締めるところは締めて、緩めるところは緩めるというのは大事だと思います。自分たちより若いゆとり世代で育った人たちはそういう言



い方をされるとすぐ辞めていってしまう。他のクラブの方たちの話を聞いたり、見たりしてそう  
そう思いました。

七海 私がいま一番大変なのは、主人がいますのでこれ終わって食事をしてからまた食事をするというの  
がとっても大変です。辞めるってなった時に、千葉東って辞めると死んじゃうよね、あの人もこの  
人も・・・そんな話を聞くときっと私は辞められないんだろうなと思いました。  
先ほどの長い話の時に 50 人位寝てました。きっとわかってらっしゃるんだろうなと思いますが、  
隣でいびきをかいて寝てる人がいてさすがに蹴りました。家族のようですけど、辞めると死んじ  
ゃうので辞めないようにお願いしたいと思います。

北原 昨年の夏に入会しましたがすごいタイミングの時に入会したなと思いました。  
今年若潮 RC ですごい出来事、若潮 RC の会員のところで世界大会が開かれます。全員で一丸とな  
って進む中で自分も盛り上げていきたいと思っています。

放生 ほとんど皆さんが言い尽くしてしまった感があります。いま社会奉仕委員長をやっています。  
幕張 RC は年に 1 回アートフレンズ展というのをやっています。障害者のアートを展示するという  
ものです。その企画をみんなでやっているというのがいいなと思います。障害者に対して支援が  
出来ているというのが魅力的なところ。5 月の開催に向けて進んでいますので是非皆様よろし  
くお願いいたします。

清田 あっという間に 1 時間経ってしまいました。今日は、入会歴が浅いロータリアンが本音で語る、  
なぜロータリーに入ったのか、良かったか？悪かったか？ということでしたが、悪かったという話  
はほぼなかったと思います。  
とはいえ、ご自分の中にいくつか気になることがあると、そんなお話を聞かせていただきました。  
ロータリーを退会される方、聞きながらふと思いました、マズローの欲求 5 段階説ではありません  
が、誰かに認められていることが自分がそこにいる存在感につながっている。自己実現、世のため  
人のために自分を誇示させていこうという段階にあるとすれば、回りから自分が認められた存在だ  
と深く感じられるかというところがお話しの中のひとつかなあと思いながらコーディネートさせて  
いただきました。  
一昨日、RLI 推進委員会のパート 1 が終わりました。まさにこういう会と同じですが、その中で、  
いろんな方がいろんなお話しをされる中で、私がロータリーって何なのか一言でお話し下さい、と  
言った中で、今日の皆さんはどうかと思いますが、自己矛盾の中の居心地の良さ、こんなお話をし  
ていました。それぞれのお立場でロータリーに対していろんな事を感じてらっしゃる。今日も 7 ヶ  
月の北原さんから、3 年 10 ヶ月の友田さんまで、それぞれのお立場、ロータリー歴の中でそれなり  
にいろんな事をご自分で考えていらっしゃることだと思います。  
これからもロータリーの旅は長く長く続きます。  
七海さんのお話しではありませんが、ロータリーは死ぬまで辞められないという結論でございます。  
IM を通してより多くのロータリアンが出会いの場を通しながら、ロータリーとは何なのかという  
ことを、より考えながらご自分の糧にしていただければと思ってパネルディスカッションを締めさ

せていただきたいと思います。ご協力ありがとうございました、感謝申し上げます。どうもありがとうございました。